



http://www.hcr.or.jp

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

福祉機器利用者アンケート	1
H. C. R. 2007 報告	
財務諸表から見た福祉施設の課題 ～給与水準は保てるか？	2
福祉の現場を訪ねて	
知的障害者の就労支援で フロンティアとなろう	6

福祉機器利用者アンケート (その2)	8
--------------------	---

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会
 Publisher: Health and Welfare Information Association
 住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
 TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798
 定価 1部 200円 (消費税・送料込)

福祉機器利用者アンケート

少子高齢化の進展により高齢者や障害者の自立や介護を支援する福祉機器に注目が集まっています。

その一方で昨今、介護ベッドや電動車いすをはじめ福祉機器に関する事故が数多く報告されています。政府も安全性に高い関心を寄せ、使用方法の注意喚起や安全性確保のための規格化が検討されています。

本会では第34回国際福祉機器展H.C.R. 2007

の会期中に、「福祉機器利用者アンケート」を実施し、昨年より677件上回る1,785件の回答を得ることができました。

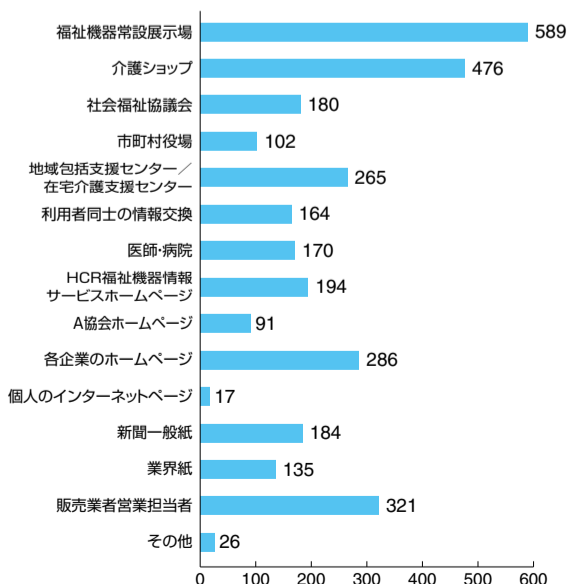
回答によると、利用者のニーズとして「安全で」「操作がわかりやすく」「適切な価格」の製品を探していました。福祉機器の選び方・使い方などの適切な情報の発信と、利用者のニーズを満たす福祉機器の一層の開発・促進が必要です。

関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

1. 福祉機器情報の入手方法

福祉機器情報の入手先は、「福祉機器常設展示場」が589件と最も多く、次に、「介護ショップ」の476件です。この2つは、実際に福祉機器を見たり触れることにより得られる安心感が一番大きいためではないでしょうか。続いて、「販売企業の営業担当者」が321件で、メンテナンスも含めた情報提供が評価されているようです。今年特に件数が増えたのが、「各企業のホームページ」で286件でした。インターネットが高齢者にも普及し、初期情報の入手方法として役立っているようです。さらに「地域包括支援センター、在宅介護支援センター」265件、「HCR福祉機器情報サービスホームページ」194件、「新聞一般紙」184件と続いています。新聞については、福祉機器関連情報が掲載される機会が増えたことも要因にあると考えられます。

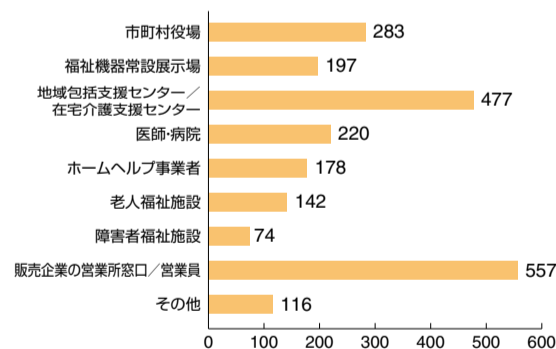
■ 福祉機器の情報はどのように入手していますか？ (※複数回答可)



2. 相談窓口

福祉機器に関する相談先は、「販売企業の営業所窓口/営業員」が557件と、昨年同様最も多くなっていました。日頃から利用者や家族と接しているため相談もされやすいようです。続いて「地域包括支援センター、在宅介護支援センター」477件、「市町村役場」283件となっています。地域近くで、相談しやすい環境が整っている所が利用されているようです。

■ 福祉機器を購入/レンタルするとき、相談された窓口はどこですか？ (※複数回答可)



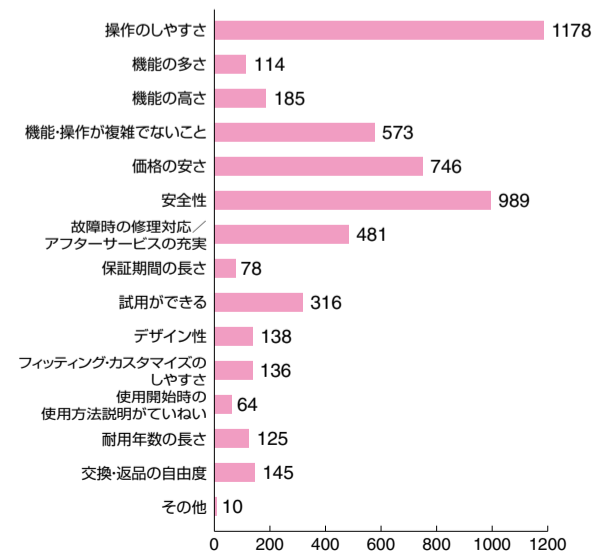
3. 利用にあたって望まれること

福祉機器の利用については、さまざまな要望があります。最も多かったのが「操作のしやすさ」で1,178件でした。操作性が単純で分かりやすいことは、機器が持つ機能を使いこなすだけでなく、事故防止にも役立っていると考えられます。そして、「安全性」が989件でした。昨今、福祉機器の重大事故が多く報告されています。まず安全で安心して使用できる製品であることは、なにより必要なことです。「価格の安さ」が746件で3番目でした。一般の製品と比べ福祉機器は高価です。理由は多くの安全性への配慮がなされていること、少ない利用



者のためにも製品化されていることなどです。とはいってもっと身近に福祉機器を使用できるようにするためには、金額面は重要な要素だといえるでしょう。

■ 福祉機器の利用にあたって望まれることは何ですか？ (※3つまで選択可)



(8ページに関連記事)